

## 第1章 5月15日：内房線（和田浦～九重） 晴れ

この区間、何時かリベンジしたと考えていた。それがやっと本日その日が来る。これまでの歩いた路線を鉄道ファンや旅行ファンなどに閲覧頂くため、2020年9月以来、“日本縦断の旅（稚内～鹿児島）”PDFシリーズに加え、日本横断歩き鉄の旅”PDFシリーズとして、カッシー館に投稿中。只今現在、第16編までは投稿の鉄道路線が決定している。

第16編までで、第13編（羽越本線・白新線）と第14編（土讃線・赤穂線）の区間が残っているが、自分の整理と第三者の方に系統的発信するねらいから、第17編以降を企画すべきと考えた。タイムリーな発信にするためには、これまで未公開の鉄道網かつ踏破済を考えた。その中で第17編から第24編にかけ、首都圏鉄道網の投稿を思いついた。



※内房線・外房線・久留里線

2021年5月15日（土）晴れ、内房線の和田浦駅から九重駅までの営業キロ15.1kmに挑戦する。この限界は、2001年7月20日（金）の海の日、安房鴨川駅から館山駅までの営業キロ33.5kmに挑戦する際立ち寄った区間。しかし、20年前は今のような**全駅舎立ち寄りによる”こだわり鉄道つたい歩き”**ではなく、安房鴨川～太海（ふとみ）～

江見～和田浦～南三原～・・・～九重～館山と若干ショートカットして歩いた経緯がある。



#### ※新宿駅、往復乗車券・往路の特急券

20年前の旅記録を読み直すと、南林間（5時30分）～新宿（6時15分）～千葉（7時33分）～館山（10時6分）～館山（10時9分）～安房鴨川（10時48分）とあった。

今回は、新宿から館山までを特急さざなみ1号の利用のため、往路1時間位短縮を図れたが、館山駅で31分待ち合わせがあり、30分遅く到着するシナリオとなった。すなわち、南林間（6時47分）～新宿（7時50分）～館山（10時6分）～館山（10時37分）～和田浦（11時1分）で臨む。20年前に比べ、館山駅界隈のダイヤは減少した感はあるが、一方では、内房線と外房線の連携ダイヤ（木更津～館山～安房鴨川～上総一宮）となっており、地元の人々の足を考慮したダイヤには感動した。



#### ※館山駅

本日は、さざなみ1号の車窓から、2001年7月から8月にかけて4回にわたり歩いた内房線を懐かしく思い出しながら館山まで移動する。千葉から、蘇我、五井、木更津、

君津、浜金谷、保田、岩井、富浦と停車。どの駅舎も 20 年前の微かに懐かしい記憶が残っていた。

和田浦駅から九重駅までの立ち寄り時刻は次の通り。

和田浦（11:04）～南三原（13:06）～千歳（14:05）～千倉（14:42）～九重（16:36）

①懐かしい和田浦駅をデジカメに収めた後、11 時 4 分、南第一号踏切を横切り、鉄道の左側となる。11 時 16 分、郷社熊野神社で本日の安全を祈願する。この先から国道 128 号線に沿って、和田町白渚（11 時 33 分）、和田浦白渚海岸（11 時 50 分）、印象深いブリッジ（11 時 57 分）と風光明媚な海岸線について、20 年前を思い出し、懐かしみながらじっくり歩く。



和田浦駅



※和田白渚海岸

12 時 7 分、房総フラワーライン（千歳、千倉方面）と国道 128 号線（館山方面）と分岐する交差点に到達。事前に用意し地図を点検せずに、誤って房総フラワーラインを歩く。この歩きにより、20 年前は直ぐ踏破できた南三原駅への道筋に苦勞する。300m 位

先にある道の駅「ローズマリー公園」が見えて、自分が誤っている方向に進行していることに気付く。何人かの地元の人のサポートで、誤った道筋からやっと解消できる。誤った地点から南三原駅までの距離は 1.6 km あった。約 30 分ロスタイムが生じる。田植えをしたばかりの水田地帯を經由し、13 時 6 分、やっと 20 年前に到達した南三原駅に到着。



※房総フラワーラインと国道 128 号線の交差点、房総フラワーライン(千歳駅への路)、南三原駅への路



※南三原駅への路、南三原駅



※南三原駅、房総フラワーラインへの路、道の駅”ローズマリー公園”

②失敗を生かすため、再度、先程通ってきた道筋を歩き、房総フラワーライン（県道 297 号線）にある新丸山大橋（丸山川：万歩計で 146 歩）手前に 13 時 28 分戻る。千歳駅への道筋は、房総フラワーライン上にあるからだ。13 時 36 分、道の駅「ローズマリー公園」を通過。14 時 1 分、南房総市の和田町から千倉町となる。房総フラワーラインと合流した国道 410 号を歩く。14 時 5 分、千歳駅に到着する。国道から分岐した道筋を歩く。14 時 36 分、南房総市図書館前を通り、千倉駅には 14 時 42 分到着。



※千歳駅への路、千歳駅



※千歳駅、千倉駅への路



※千倉駅、第三千倉街道踏切から観た千倉駅

③第三千倉街道踏切を横切って鉄道の右側に出る。踏切を渡った先に中国料理”永新”があった。遅い昼食をとるため立ち寄る。ドアを開けて入ろうとするが入れず。断念して帰ろうとしたところ、店長が「営業しています」と言って、開けてくれる。本日この店は、あるテレビ局による食べ物関連の取材の最中であった。担当者からその旨の説明があり、偶然にもいい機会なので、何時も持ち歩いている”歩きチラシ”を手渡しして、

カッシー館のPRをさせて頂く。ここでも「人生は不思議なものですね」を痛感した。この店で40分位滞在する。この店の特徴は、”無料でチャハンが食べ放題”であろうか。残念ながら、美味しい麻婆豆腐ラーメンを頂き満腹となり、チャハンへの挑戦はできなかったが。



※中国料理”永新”、南房総市と館山市の市境

④昼食後、山間が続く鉄道を左手にして、九重駅までの花道が続く。16時2分、229歩あるトンネル手前で、南房総市から館山市となる。九重駅には16時36分到着。16時31分発の上り電車が出たばかり。次のダイヤは17時45分。退屈なひと時を凌ぐため、2000試合目となる、巨人=阪神戦の行方をネットで確認しながら過ごす。結果は辛くも巨人が5対3で逃げ切る。1時間の待ち時間を要したが、特急を使用せず、九重（17時45分）～君津（18時56分）～千葉（19時49分）～錦糸町（20時24分）～新宿（21時2分）～相模大野（21時42分）～自宅（22時14分）と待ち時間もなく家路に到着できる。



※九重駅



※九重駅

10時間のアクセス時間を要したが、長年の案件事項がクリアでき、充実した一日となった。これで通算営業キロは1万1千892 km（歩き日数581日）となり、1万2千キロが見えてきた。